



自由民主党・明政クラブ
谷田部 一之
やたべ かずゆき



愛する粕江、未来のために

問 ①一昨年の台風19号における市の検証について、市民説明会の概要は

②浸水対策を行う上で補助金の活用が大切であると考えるが、現時点で考えられる国や東京都の補助率は

③多摩川住宅旧第四小学校跡地に調節池を設置出来ないか

④粕江三叉路大型ビジョンについて市の見解は

⑤将来、駄倉小学生クラブは新図書館新設のため無くなってしまおうのか

⑥将来の粕江の理想像は。

答 ①浸水原因については、はじめに多摩川の水位上昇に伴う排水不良を原因とした浸水が発生したのち、多摩川からの逆流により浸水範囲が広がったと説明。今後の対策については、短期対策と中長期対策に分け説明し、実現の可能性や財政的な調整も含めて今後検討すると説明

②国が対象事業費の2分の1、東京都が対象事業費の100分の2・5。補助率を上げるよう東京都に要望している

③流域全体で考えていかなければならない。「調布市・粕江市の水害対応等に関する検討会」などにおいて検討を進める

④市政情報や防災情報を市民の目にとまりやすい場所で発信をすることで、情報発信の強化につながると考える

⑤定員増により約1.6倍になり第一小学校区の待機児対策としては問題ない

⑥デジタル教科書などに対応できる行政のデジタル化の推進、生活する地域で仕事がしやすく、若者が住みたいと思えるまちづくり。また心豊かで人にやさしいまちにすることが大切と考える。

他に、排水ポンプ車の配置を要望

用語解説

石川議員

- ※1…誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、医療・介護・介護予防・住まい・日常支援サービスが包括的に提供されること。
- ※2…制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参加し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会。

三宅議員

- ※3…Mobility as a Service の略称。
地域住民や旅行者一人ひとりの移動ニーズに対応し、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせて検索・予約・決済等を一括で行うサービスであり、観光や医療等の目的地における交通以外のサービス等との連携により、移動の利便性向上や地域の課題解決にも資する重要な手段となるもの。
- ※4…複数の人を一度に運ぶことができる効率性と、利用者の要望に応えることができる柔軟性を併せ持った移動サービスの提供形態。



議員研修会

令和2年11月16日(月)に千葉県市川市の職員で、議会事務局実務研究会会員でもある野村憲一様を講師に招き「自治体議員のコンプライアンス」についての研修会を開催しました。

「自治体議員のコンプライアンス」は、議員活動を行う様々な場面で求められることから、議員活動を行う上でありがちな問題行動や法令違反につながりやすい考え方について研修を通じて再確認しました。



本会議場を開放しました

新型コロナウイルス感染拡大に伴い緊急事態宣言が発令された影響により、執行部側の要請を受け、本会議場を開放しました。

本会議場を執務スペースとして開放することで、分散勤務が可能となり職員が3密になるのを防ぐことができました。